

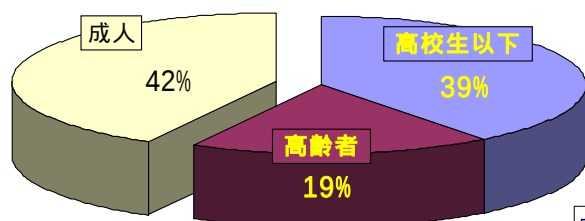
交通事故から子供と 高齢者の生命を守る



知っていますか？交通事故のこと

近年、交通事故死者数は減少し、54年ぶりに年間6千人を下回りました。（平成19年＝5,744人）
また、交通事故の発生件数についても近年は減少傾向にあります。しかし、交通事故死者のうち、特に交通弱者（歩行者・自転車）が全体の約4割を占めています。

平成17年 年齢層別 歩行者・自転車の事故件数



出典：国土交通省、警察庁
交通安全マップホームページ

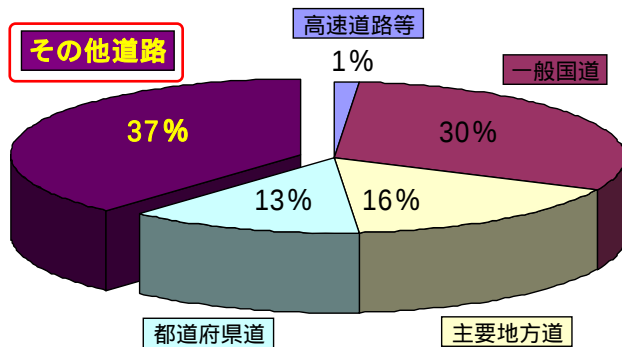
■ 高校生以下（18歳以下）
■ 高齢者（65歳以上）
□ 成人（19-64歳）

歩行者・自転車事故の
約6割が高校生以下
と高齢者の事故です！

交通事故は私たちの身近で起きています！

平成 17 年 死亡事故件数

路線別 高校生以下と高齢者の死亡事故件数

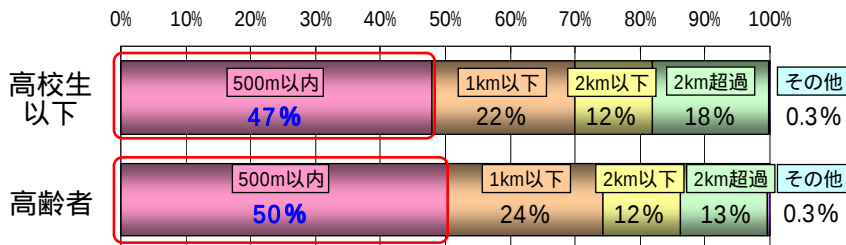


死亡事故の約4割が
身近な生活道路で
起きています

出典：国土交通省、警察庁交通安全マップホームページ
主要地方道：国土交通大臣が指定する主要な都道府県道
または政令指定都市の市道
その他道路：主要地方道以外の市町村道

平成 17 年 事故件数

自宅からの距離別 歩行者・自転車の事故件数



歩行者・自転車事故の
約5割が自宅から500m
以内で起きています

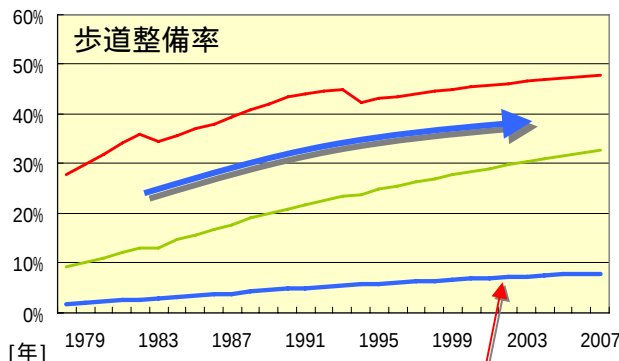
出典：国土交通省、警察庁交通安全マップホームページ

これまで、種々の事故対策を行ってきました

歩行者施設の整備

歩道

国道、都道府県道を中心とした歩道整備を実施。最近 30 年間で一般国道の整備率は 20% 増加しています。



市町村道の歩道整備は
まだまだ不十分です

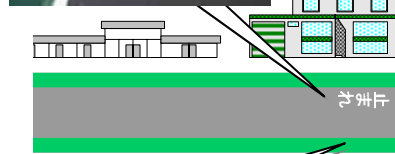
— 一般国道
— 都道府県道
— 市町村道

引用：道路統計年報
(全国道路利用者会議)
歩道整備率 = 歩道実延長 / 道路実延長

生活道路の交通安全対策

交差点の一旦停止線
運転者へ注意喚起します。

交差点のギラギラ舗装
交差点をわかり易くします。



路肩のカラー舗装
歩行空間を明確にします。

交差点鉾
交差点をわかり易くします。

しかし、悲しい交通事故が後を絶ちません・・

● 交通事故ニュース ● 市町村道において交通弱者（子供、高齢者）の死亡事故が起きています。

— < 埼玉県川口市戸塚東二丁目 > ————— 2006.9.25
道路状況：市道、幅員 6 m、歩道無、ガードレール無
被害者：女児 2 名死亡、園児・保育士 14 名重軽傷
加害車両：ライトバン 時速 50 km 走行（破損状況より）
事故原因：脇見運転

— < 高知県吾川郡いの町天王南一丁目 > ————— 2007.9.18
道路状況：町道、三差路、信号なし
被害者：男性（73 歳）1 名死亡
加害車両：乗用車



— < 山形県南陽市赤湯 > ————— 2007.9.20
道路状況：市道
被害者：男児 1 名死亡、1 名重傷
加害車両：乗用車
事故原因：ハンドル誤操作

— < 栃木県宇都宮市富士見町 > ————— 2007.9.22
道路状況：市道
被害者：男性（73 歳）1 名
女性（82 歳）1 名 死亡
加害車両：乗用車

ハード対策とソフト対策を組み合わせた、更なる交通安全対策が求められます！！

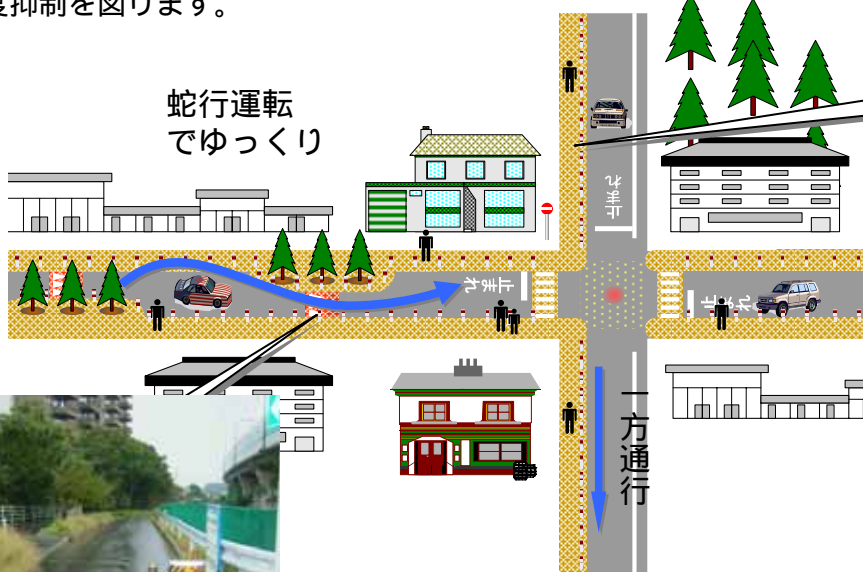
子供と高齢者が安心して歩ける町づくり(ハード対策)

よく考えてみて下さい！地域住民のドライバーにとって快適な道路とは、同時に域外の貨物トラック・営業車両のドライバーにとっても快適な道路です。『自動車優先から歩行者・自転車優先』の町づくりへ発想転換することにより域外からの通過交通を減らし、地域の歩行者・自転車の事故の危険を軽減させることができます。

車両走行速度の抑制

ハンプ・クランク・狭さく

- ・カラー舗装等で運転者に視覚的に閉塞感を与えます。
- ・物理的に速度を出しにくい道路構造(幅員減少・段差)とし速度抑制を図ります。



歩行者・自転車の優先



歩道空間の確保

- ・一方通行規制により車道幅員を縮小し、歩道を拡幅します。
- ・ガードレール・ラバーポールを利用して歩行者・自転車と自動車を物理的に分離します。

身近な情報を集めて、活用しましょう(ソフト対策)

身近なツールを使って、自分の地域の交通事故危険箇所を把握しましょう。また、自分の目と足で確認することも大切です。例えば、子供の目線で通学路と一緒に歩いて、危険な場所や安全確認が必要な場所を見つけ、その理由と安全な通行方法を教えてあげると良いでしょう。

インターネットで

ヒヤリ地点の検索
事前に自宅周辺の通学・買い物に利用する道路のヒヤリ地点を把握して、細心の注意を払いましょう。

<事例> 埼玉県坂戸市



出典：埼玉県坂戸市の情報サイト「さかのめ」
(<http://sakadonome.info/>)

市役所で

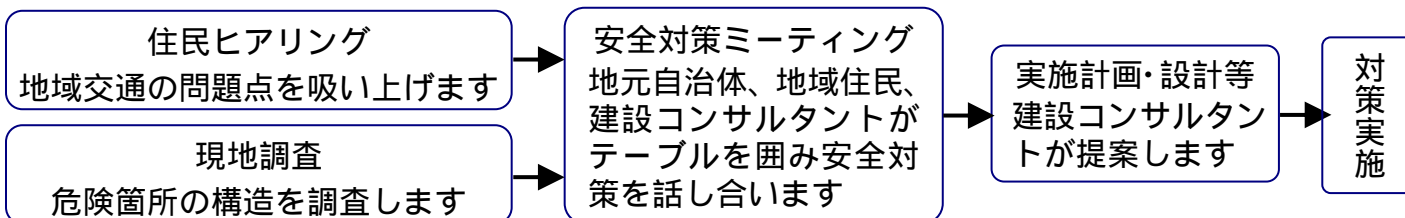
ヒヤリ・ハット地図
<事例> 茨城県牛久市
地域の老人会や小学校の協力を得て、身近な交通事故危険箇所を地図に整理しています。



出典：茨城県牛久市ホームページ

建設コンサルタントは皆さんを守るお手伝いをしています

私たち建設コンサルタントは皆さんの安全・安心確保のために、技術的にサポートします。
地域で生活しているみなさんの生の声を聞かせて下さい！



生命を守るための取り組み - 社会資本整備を通じて - (No.3)

- No.1：大雨・洪水からあなたの生命を守る
- No.2：土砂災害からあなたの生命を守る
- No.3：交通事故から子供と高齢者の生命を守る
- No.4：地震災害からあなたの生命を守る

交通事故から子供と高齢者の生命を守る

発行 社団法人 建設コンサルタンツ協会 URL <http://www.jcca.or.jp/>
〒102-0075 東京都千代田区三番町1番地(K Y 三番町ビル)
Phone 03(3239)7992 Fax 03(3239)1869
編集 社会資本整備のあり方検討 WG
発行日 平成20年4月

